

「地域に開かれたみえ短」

学 報 みえたん

発行所
三重県津市一身田中野157
三重短期大学
電話 059-232-2341
E-mail: 232-2341@city.tsu.lg.jp
印刷所
伊勢出版
電話 059-225-8212

三重短期大学で育まれる学生は、地域の大切な財産です。学生は学内活動だけでなく、地域社会において自主的にさまざまな活動をして、地域貢献を果たしています。また大学としても市民の皆さんを対象に地域連携講座やオープンカレッジなどを開催し学習機会を提供するなど地域に開かれた大学を目指しています。

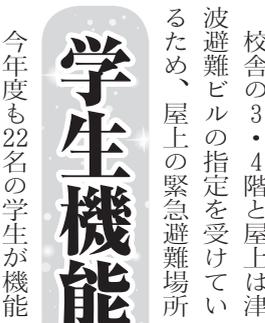
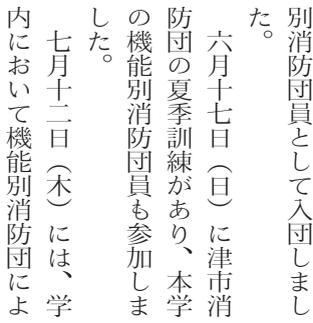
一身田寺内町の清掃

五月二十六日(土) 地元住民や商店、一身田中学校の生徒の皆さんとともに、一身田寺内町の清掃や高田本山専修寺境内の清掃・除草を行いました。



大津波想定避難訓練

四月二十六日(木) 南海トラフ巨大地震に備え、津波を想定した避難訓練を行いました。三重短期大学から、高台にある一身田上津部田の県総合文化センターを目指し、学



生と教職員が、地元住民の皆さんと一緒に歩いて避難しました。また学内では防災啓発車による地震体験や煙体験ハウスによる避難体験、AEDの取

学生機能別消防団

今年度も22名の学生が機能別消防団員として入団しました。

六月十七日(日)に津市消防団の夏季訓練があり、大学の機能別消防団員も参加しました。

七月十二日(木)には、学内において機能別消防団による初期消火訓練を行いました。



り扱いの確認や災害時の持ち出し品等の説明を受けました。校舎の3・4階と屋上は津波避難ビルの指定を受けているため、屋上の緊急避難場所



整備されていなかった一面のテニスコートを、三重短期大学教育振興会と三重短期大

テニスコートの整備

学同窓会、学生自治会の協力を得て整備しました。



高等教育オンラインシニアみえと三重短大

学長 東福寺 一郎

主に県や市などの自治体を圏域とし、近隣の大学や短期大学などの高等教育機関が協働して事業を実施したり、単位の互換を行うための組織を大

するアンケート」調査も実施しました。この調査結果を基にして、三重県では若者向けのハンドブックを作成しています。本学では、高田短期大学で開催されたSD研修会に教員が参加した他、アンケート調査にも協力しました。また、単位互換ではありませんが、三重大学で開講される科目を履修し単位を修得すれば本学の単位として認定する制度について、これまでは生物

さて、前号において、昨年度に認証評価を受審する旨お報せしましたが、お蔭様で、若干の指摘事項はあったものの、本学が短期大学としての基準を満たしているというお墨付きを大学基準協会から頂くことができました。もちろん、そのことに満足せず、公立の短期大学として本学がどうあるべきなのかを今後も考え続けて参りますので、引き続き、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。*FD・SD活動：大学・短大の教職員の能力向上をめざして行われる各種活動のこと。

キャンパスライフ

学生部長 村井美代子



月に一度、学生部と学生自治会、学祭実行委員会、三科合同クラブ委員会、生協学生委員会が協議する「三部会」を開催しています。もともと

入生が参加し、企画・引率した二年生とも交流を深める貴重な時間を過ごしました。七月のサマーフェスティバルでは、焼きそばやわらび餅などを販売するゼミやクラブの模擬店や、学祭実行委員会企画のお化け屋敷などに、卒業生や地域にお住いの皆様など、多数の参加者を得ました。

今年度はクラブやサークルへの参加者が増え、体育館やグラウンド、テニスコートなどで活発に活動を行っています。また、七月には三重短期大学同窓会と教育振興会、学生自治会の支援を得て、テニスコートの整備を行いました。

活動が危ぶまれるほど入会者が少ない年度もありましたが、今年度は学生自治会、生協学生委員会、学祭実行委員会にも新入生が多数入会しています。充実した活動が次代につながってゆくことを期待しています。

法経科の現況

法経科長 楠本孝



今年度の法経科には、第一部法律コースに67名、経商コースに58名、そして第二部に76名の新入生を迎え入れました。近年にない多さですが、その分学内が活性化し、学業はもろろんのこと、サークル活動や課外活動でも例年以上に活気が感じられます。それに刺激を受けたのか、2年生も、就職活動や編入学試験に向けた取組みに、充実した日々を送っているように見受けられます。

また、法経科では、今年度、教員の構成も大きく変わりました。29年間本学で「文学」「比較文化論」「ドイツ語」を担当された竹添敦子先生が今年3月に定年退職されました。講義以外でも、長年学生部長として学内業務を担

マ目という時間帯ですが、遠隔地から通学する学生も頑張って受講しています。講義のみならずクラブやサークル活動などに参加している新入生が多く、各教員の研究室を積極的に質問に訪れる学生もいて、真摯な姿勢が印象的です。

2年生については就職や編入学など様々な進路を歩んでいけるよう、生活科学科教員

地域連携センターだより

地域連携センター長 石原洋介



三重短期大学地域連携センターは、平成二十年四月に本学と地域との連携事業に取り組みための部局として設置されました。地域連携事業は、多岐にわたりますが、いずれの事業も、各方面からの支援を得て着実に成果を上げて来ています。ここでは、主要な

三分野について現状を紹介したいと思います。まず、連携センターが最も重要な分野と位置付けています。生涯学習機会の提供では、「地域連携講座」「オープンカレッジ」の二つの事業が中心になります。「地域連携講座」は、各界の著名な研究者や実務家を招き、本学教員がコーディネータを務めて、各研究分野の最先端の知見を市民に提供する講座で、年二回開講されます。「オープンカレッジ」は、本学の教員が講

師となって、毎年夏から秋にかけての五日間に10講座開設されます。昨年度は、延べ人数にして、地域連携講座に七十三名、オープンカレッジに四〇五名の参加をいただきました。

市政との連携の分野では、センター設立当初から、政策研究・研修を実施しています。これは、県や津市及び近隣の自治体の職員を対象に、特定のテーマについて研究・研修を行うものです。本年度は「糖尿病性腎症の重症化予防のための指導ツールの作成」をテーマに、津市の職員以外に、名張市の職員が参加しています。

三重銀総研との連携事業で

図書館だより

附属図書館



附属図書館の所蔵資料は平成二十九年年度末で図書97,448冊(和書92,792冊、洋書4,656冊)、受入れ雑誌136種(和雑誌105種、洋雑誌31種)、紀要683種、新聞8種(和新聞6種、洋新聞2種)、視聴覚資料955タイトルとなっております。小規模図書館でありながら20万冊を超える資料を所蔵しています。図書・視聴覚資料は、館内の利用者用PC(OPAC)だけでなく、Webからどなたでも検索できます。利用状況は、平成二十九年度は入館者数17,516人、貸出者数3,224人(うち一般205人)、貸出冊数6,198冊(うち一般463冊)です。

図書情報などに関する相談件数は、985件(所蔵調査464件、事項調査521件)となっております。平成十七年に2名から始まった学生ボランティアは、現在では部として活動しています。本学はもちろん、近隣の学校図書館支援なども積極的に取り組んでいます。

図書館は、本を借りる、勉強するだけの場所ではありません。調べ方・就職活動や編入学試験対策をはじめとする図書館活用講座の開催の他、笹流し・新年の運試しがチャ・図書館キャンペーンなど楽しいイベントもあります。みなさんのご利用をお待ちしています。

新任教員の紹介

生活科学科教授

橋本 博行



平成30年4月1日より、生活科学科食物栄養学専攻の食品学、食品衛生学分野の教員として着任させていただきました。橋本博行です。津市立の公立短大として多くの優秀な学生を教育、輩出されてきた短大に奉職できましたことを心よりうれしく思っています。出身は香川県で、これまで、民間の食品開発会社の研究員

ある「小論文・作品コンクール」は、今年で第十二回目を迎えました。昨年は作品部門創設以来はじめて最優秀賞が作品部門から出ました。小論文に比べ、作品部門の応募はまだ少ないのが現状ですが、今後の励みになればと思います。今年是一年生への広報宣伝を強化し、更に応募数が増えることを期待しています。これら以外にも、高大連携事業、三重大学との連携事業、「高等教育コンソーシアムみえ」を通じた地域貢献、学生ボランティア活動の支援などを通じ、地域連携センターは、三重短期大学と地域との架け橋の役割を担っていきたくと考えています。

や食品の品質管理業務を行ってきました。そして、私立短大の栄養士養成課程で教育を行ってきました。着任後は、これまでの実務経験や教育経験を活かしながら「わかり易くて、ためになる」講義を行っていきたく思います。また、社会ですぐに役立つ研究を行いたいと考えて、栄養士の業務分野で重要な「食物アレルギー対応における事故の防止方法」について研究を進めております。さらに、地域貢献に關しては、学生の主な就職先である津市や地域の集団給食施設の業務改善に關わる貢献ができるように積極的に活動していきたくと考えています。

生活科学科の現況

生活科学科長 長友薫輝



生活科学科では本年4月に、新入生170名を迎えました。食物栄養学専攻57名、生活

科学専攻113名(生活福祉・心理コース53名、居住環境コース60名)の新入生を迎えました。例年より多い学生数となっており、賑やかな様子となっています。講義では、前期から「生活科学概論」(必修科目)を学科教員全員がリレー方式で講じています。月曜日の1コ

今年度の法経科には、第一部法律コースに67名、経商コースに58名、そして第二部に76名の新入生を迎え入れました。近年にない多さですが、その分学内が活性化し、学業はもろろんのこと、サークル活動や課外活動でも例年以上に活気が感じられます。それに刺激を受けたのか、2年生も、就職活動や編入学試験に向けた取組みに、充実した日々を送っているように見受けられます。

また、法経科では、今年度、教員の構成も大きく変わりました。29年間本学で「文学」「比較文化論」「ドイツ語」を担当された竹添敦子先生が今年3月に定年退職されました。講義以外でも、長年学生部長として学内業務を担

マ目という時間帯ですが、遠隔地から通学する学生も頑張って受講しています。講義のみならずクラブやサークル活動などに参加している新入生が多く、各教員の研究室を積極的に質問に訪れる学生もいて、真摯な姿勢が印象的です。

2年生については就職や編入学など様々な進路を歩んでいけるよう、生活科学科教員

法経科准教授

今本 幸平



独語と文学の授業を担当している今本です。昨年度まで独語Iの非常勤講師として12年間お世話になっていました...

法経科准教授

田添 篤史



平成30年4月に着任した田添篤史と申します。経済原論、統計学、経済学史の講義を担当しています。

研究では社会の持続可能性を主たる課題としています。私たちの生活にかかわる多くの活動は企業活動に媒介されています...

法経科講師

川上 生馬



平成30年4月から、三重短期大学法経科に着任した川上生馬と申します。先行研究分野は民法で、担当講義は民法I・II・IIIです。

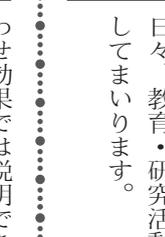
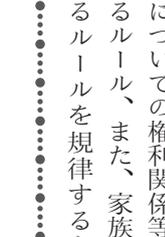
生活科学科助教

相川 悠貴



助教の相川悠貴です。2017年10月採用です。早速、4つの運動部の顧問になりました。

しかし企業の活動目的は特定社会の持続ではなく、あくまで利益獲得となつています。企業の活動がグローバルとなり特定の地理的領域を超越するようになると、企業活動の繁栄と特定社会の持続可能性が一致しなくなっていくま



同窓会だより

事業報告と決算

6月30日(土)に同窓会役員会が開催され、平成29年度の事業報告と決算報告、会計監査報告、平成30年度の事業計画と予算が提案され、原案どおり承認されました。

平成29年度三重短大同窓会決算書

Table with financial data for the alumni association, including income and expenditure sections with columns for budget, actual, and comparison.

Summary table for cash and reserve funds, showing current and projected amounts.

平成三十年度総会を開催

三重短期大学教育振興会

五月十日、役員会と総会が開催され、平成三十年度役員会の選任、平成二十九年度収入支出決算、平成三十年度収入支出予算などが提案され、すべて原案どおり承認されました。

どが行われました。教育振興会は、昭和二十七年五月の開学直後に発足し、本学の教育目標である「広い分野の総合的な知識と深い専門的学術を教授研究し、豊かな人間性と高い知性を備え、議論的で自主的な判断能力に加え応用力や実践力の富む有為な人材育成をすること」の達成のために、教育の拡充や施設整備等の援助を図り、学生がより良い環境の中で学び教養が高められるよう活動しています。

Income and expenditure statement for the education promotion association for the fiscal year 2019.

Detailed breakdown of income and expenditure items for the education promotion association.

Summary of income and expenditure totals for the education promotion association.

総会のご案内
保護者各位
2019年度三重短期大学教育振興会総会は、2019年5月9日(木)の開催を予定しています。

平成29年度進路状況

学生部

平成29年度の企業の採用活動は、前年度と同様に広報の解禁が3月、採用選考の開始が6月となりました。しかしながら、上記の枠にとらわれず早い段階で採用活動を開始する企業がある一方で、内定を得ても納得のいくまで就職活動を続ける学生もいたことから、就職活動は長期に渡りました。また、雇用環境が改善に向かい、売り手市場と言われる状況でも、質を重視し

た採用形態により、多くの内定を得る学生がいらっしゃる一方、思うように内定を得られない学生もおり、二極化が見受けられました。

このような中、本学の就職率は96・3%となり、6年連続で90%を超え、特に直近4年間は95%を超えています。進路状況を簡単にまとめると以下のようになります。

学生自治会だより

自治会・大学祭実行委員会

1部自治会

法経科第1部自治会長

京近 修吾



もさまざま活動があり自治会の委員のみなんで協力しています。これからはほかの委員会と協力して、よりよい学生生活が過ごせるように活動を広げて行きたいと思っています。

2部自治会

法経科第2部自治会長

余部 成



1部自治会は昼間部の学生で構成されており、2年という短い大学生生活をより楽しく、快適に過ごしてもらうために、夜間部の学生で構成されている2部の自治会や、大学祭実行委員会と協力して日々活動を行っています。主な活動内容は新入生歓迎のバス旅行の企画運営や、サマフェスや学校祭などの学校行事の準備や撤収の時のサポートなどを活動内容としています。他に

私たち2部自治会は、主に、2部の新入生のウェルカムパーティーやバス旅行の運営・企画し、その他にも、ベールマーク活動や学校周辺の清

15名)、就職67名(うち公務員8名)となっています。法経科第2部は卒業生65名中、進学15名(同13名)、就職25名(同0名)となっています。生活科学科食物栄養専攻は卒業生51名中、進学3名(同1名)、就職44名(同0名)となっています。生活科学科生活科学専攻は、卒業生107名中、進学17名(同11名)、就職73名(同0名)となっています。

編入学先としては、国公立大学27名(三重13名、静岡2名、青森県立保健、愛媛、埼玉県立、佐賀、滋賀県立、島根、信州、高崎経済、都留文科大学、長野、奈良女子、福井)、

掃活動などしています。

毎週木曜日に部会を開いており、活動の企画や反省会などを設け、次の活動に取り組みやっておりますが、自治会員一人一人が、どうすれば、学生が快適なキャンパスライフを送れるか、日々、考えております。

「私もみえたんの力になりたい!」と言う方がおりましたら、ぜひ一度、2部自治会の方に見学に来て下さい。心よりお待ちしております。

大学祭実行委員会

大学祭実行委員会委員長

東丸 拓未



私立大学13名(大阪経済2名、南山2名、龍谷2名、関西、相山女学院、名古屋学院、神戸学院、日本、日本福祉、広島修道)となっています。

就職先としては、法経科第1部では、公務員(三重県庁、三重県警察、鈴鹿市、松阪市、飛騨市、豊明市など)、法経科第1部経商コースでは金融機関、生活科学科食物栄養専攻ではフードサービスや医療機関、生活科学科生活科学専攻では住宅・不動産、社会福祉法人など、学科の特色を生かした希望先に就職する傾向が見られます。

キャリア支援室たより

キャリア支援委員会

学生ひとりひとりの就職活動をサポートする就職支援室であるTASK ROOMは、求人票や就職試験受験報告書、企業説明会案内などの各種資料を備え、通常期は週に2〜3日、繁忙期は週に4日、キャリアカウンセラーが常駐して進路相談に応じています。以前はTASK ROOMの中に面談コーナーを設けていましたが、現在は別途面談室を設け、面接指導やマナー指導をより実践的に細やかに行えるようになりました。また、3年前に立ち上

がった「就活サークル」では、9月ごろから年末年始にかけて、企業に送る求人票送付依頼のリーフレットの作成を行っています。

TASK ROOM近くにあるキャリア資料室には、各大学の編入学生募集要項や編入試験受験報告書、卒業生が寄贈してくれた編入試験対策テキストなどがあり、編入希望者が活用しています。ゼミ担当教員やクラス担任教員も、履歴書や志望理由書の添削、面接練習などを随時行っています。キャリア資

料室には、公務員試験受験報告書や公務員試験受験案内などの資料もあり、公務員志望者も利用しています。

前期に開講している「キャリア形成セミナー」は、今年度285名が受講しました。受講生の大半は新入生で、前葉泰幸津市長をはじめ、毎回様々な分野の講師からお話を聴き、多様な職業観や人生観に触れることを通じて、今後の進路選択に役立てています。講義時間内にミニレポートの作成を課し、限られた時間で意見をまとめられるよう指導しています。提出されたレポートは各講師にすべて目を通していただき、レポートに記載された学生からの質問にも丁寧な回答をいただいています。

平成二十九年度の学事報告

大学総務課

- 四月：入学式(六日)、新入生各種ガイダンス(七日)
- 十月：受験相談会(十四日)
- 十一月：大学祭(十八日)、推薦入学試験(二十五日、二十六日)
- 十二月：冬季休業(二十七日〜一月四日)
- 一月：後期普通講義再開(五日)、後期補講(二十九日〜二月二日)
- 二月：一般入学試験(六日、七日)、法経科第2部受験相談会(十日)、後期追試験(十四日、十六日)
- 三月：後期成績発表(二日)、法経科第2部入学試験(十一日)、学位記授与式(二十一日)
- 四月：入学式(六日)、新入生各種ガイダンス(七日)
- 十月：受験相談会(十四日)
- 十一月：大学祭(十八日)、推薦入学試験(二十五日、二十六日)
- 十二月：冬季休業(二十七日〜一月四日)
- 一月：後期普通講義再開(五日)、後期補講(二十九日〜二月二日)
- 二月：一般入学試験(六日、七日)、法経科第2部受験相談会(十日)、後期追試験(十四日、十六日)
- 三月：後期成績発表(二日)、法経科第2部入学試験(十一日)、学位記授与式(二十一日)

成績優秀者表彰

平成30年3月に挙行されました学位記授与式におきまして次の者を表彰しました。

食物栄養専攻並びに生活科学専攻生活福祉・心理コースの成績優秀者に対し、社団法人全国栄養士養成施設協会、並びに一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連

盟より授与されるものです。

●全国栄養士養成施設協会表彰
食物栄養専攻
水野 菜生子 (みずの なおこ)

●日本ソーシャルワーク教育学校連盟表彰
生活科学専攻 生活福祉・心理コース
日下部 綺音 (くさかべ あやね)



水野 菜生子さん



日下部 綺音さん